

Smile

インタビュー 38

Woman!

この人の仕事のカタチ

どこか輝いてみえる「仕事」をしているあの人にズームアップ。



お花を通じてふれ合い 喜ばれるアレンジづくりを

nara

横田 順子さん

大通りから少し入った住宅地の一角にあるオシャレなたずまいのお店。横田順子さんの「nara」（岡山市南区浜野）という名前の花店だ。店内は花のいい香りがいっぱい。

普通の花店と違うのはキーパー（花の冷蔵庫）が無いこと。「お花にはパワーがあり、その香りに包まれて仕事がしたいのでキーパーは使いません」と横田さん。

作品はすべてオーダーメイド

作り置きはしないで注文をもらってから、オーダーメイドですべてのアレンジを制作する。花の種類は少ないが、それだけに花にこだわって自分の好きなものだけ仕入れ、オリジナリティー溢れる作品をつくっている。「大量に仕入れてお花を枯らすのがいやなのです」。花を愛する気持ちが伝わってくる。

大学時代に花店でアルバイトをしたのがきっかけ。卒業してからも花店で働き、それから独立して4年目。「自分でお店を始めてからは大変な部分もあるけれど、仕事は楽しい。お花はプレゼントにするケースが多いので、お客様に心から喜んでもらえることが一番。アレンジを制作する時は、いつもお客様のイメージや

プレゼントの内容など細かく聞いて、自分のなかでイメージアップしてからひとつひとつを丁寧につくる」という。

深まる花に対する愛情

暇があれば、旅行に行くことが多いそう。気分転換のつもりでも所々で目にする花や、旅先の花店などに目がいつつしまふ。「やっぱりお花が好きなんです」とにっこり。

今後の夢は「もう少し余裕のある空間でお客様と接したり、アレンジをつくったりしたいですね。お花を通じて多くの人とコミュニケーションを増やしたい」という。横田さんの花に対する愛情は深まるばかり。

「初心者の方にも、お花に触って楽しんでもらったり、癒しの時間を過ごしていただきたい」と――横田さんのメッセージだ。

